

平成22年度  
商工会事業評価システム  
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、  
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 5月11日（予定）

総（代）会報告日 平成22年 5月25日（予定）

入力年月日	平成22年5月6日
商工会コード	4641
商工会名	玉村町 商工会
入力担当者職氏名	関口 聡
分析シートの枚数	(8) 枚

群馬県商工会連合会

## 1. 評価対象者の概要

### (1) 評価対象団体名

(玉村町)商工会

所在地(佐波郡玉村町下新田429-2)

### (2) 団体の概要

①会員数 (643) 名

②小規模事業者数 (1021) 名

③職員数 (6) 名

平成22年3月31日 現在

### (3) 構成役員

①会長 (1) 名

②副会長 (2) 名

③理事 (21) 名

④監事 (2) 名

### (4) 評価事業期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日

### (5) 評価算定者

職名 (経営指導員)

氏名 (関口 聡 )

### <記入上の注意>

以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績 (要因を含む)を記入するにあたってのご注意

(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求められています。

(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化(大型店の出店・地域プロジェクト・役員の改選・職員の人事交流等)並びに年間を通じ特に重点を置いた事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコメント記述してください。

## 2. 総括的概要

玉村町商工会にとって最大の懸案事項である会員組織率の向上のため以下の通り各方向からの対策を実施した。

組織基盤強化事業(会員増強活動・会員日帰り親睦旅行開催)

経営指導関連事業(建設業一人親方労災団体の設立)

創業者支援事業(たまむら安心リフォーム組合設立支援)

中小商業者支援事業(たまむらトクトク商品券発行事業・ふるさとまつり内うちわ大抽選会)

地域活性化関連事業(商工会春まつり・たまむら歌留多事業)

## 3. 外的及び内的環境の変化等

平成21年度のがわが国経済はリーマンショックにはじまる景気低迷が続き、中小企業にとっては相変わらず厳しい経営環境が続いた1年であった。地方経済も厳しい環境が続き、各業種とも景気低迷に悩んでいる。特に、商工会の会員主層である零細企業においては、廃業倒産に追い込まれケースも多くなってきており、会員数減少に歯止めがきかない状況が続いている。

#### 4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式一1)」を参考にして総括してください。

##### (1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

会員増強の推進: 当商工会の会員数は平成10年度の709名をピークに減少を続けています。平成21年4月1日現在648名、商工業者数は1,266名ですので組織率は51%です。玉村町商工業者の2人に1人は商工会に加入していません。商工会ではこれまでも毎年会員増強運動を続けてきましたが、今年度も役職員一丸となって会員増強に積極的に取り組んでいきます。

魅力ある商工会づくりの推進: 商工会に入っていて何のメリットがあるのか」と会員や一般の方からよく聞かれることがあります。商工会は国の中小企業者に対する経営支援事業を推進することが最大の事業目的であり、経営指導員を中心に金融、記帳、税務、労務、共済をはじめ各種経営相談に応じています。また、会員ニーズの高度化、多様化に対応し創業、経営革新や県連のエキスパートバンクによる専門家の派遣事業にも積極的に取り組んでいます。今後の目標としては、会員に対する巡回や電話による相談をより強力に展開していきます。商工会は役所ではなく、サービス業です。顧客志向にかなった事業運営を展開していきます。

町との連携強化: 玉村町商工会はこれまでも町と積極的に連携し、町の商工業振興やふるさとまつりをはじめ各種イベントなどにも積極的に取り組んできました。近年合併する市町村が多くなってきた中で、玉村町商工会はひとつの町の中のひとつの商工会というメリットをもっており、町との密接な関係を保持しています。今後も地域経済団体として町と連携し玉村町商工業の発展に努力するとともに、地域住民からも好評を得られるような商工会活動を展開していきます。

##### (2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

会員増強活動(年度当初会員数648名 加入者数26名 脱退者数31名 年度末会員数643名)

会員日帰り親睦旅行開催(参加者総数204名。大型バス5台)

玉村町商工会建設業一人親方労災会設立(22年3月25日設立総会 4月1日労働局より認可 当初会員数15人)

たまむら安心リフォーム組合運営支援(相談件数66件 成約施工件数44件 受注額1084万円)

たまむらトクトク商品券発行事業(総額6000万円分を2時間で完売 取扱店数175店)

ふるさとまつり内うちわ大抽選会(ふるさとまつり来場者総数2.5万人内うちわ持参者3,591人)

商工会春まつり(参加者3,000名・大釜すいとん1,000食無料配布)

たまむら歌留多事業(新入小学生340人に配布:町予算)

##### (3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

商工会では経営、金融、税務、記帳、労務等を中心とした小規模事業経営支援事業を着実に実施するとともに、ふるさとまつり、産業祭、春まつり等の地域振興事業にも積極的に取り組んできました。国の緊急経済対策事業として町から助成金をいただき実施したプレミアム商品券は、8月30日に販売したところ即日完売し、9～11月の3ヶ月にわたり玉村町の消費拡大に大きく貢献しました。2月に実施した新春経済セミナーは日本銀行前橋支店長、柴山氏を講師に招き、「2010年の経済見通し」について講演していただきました。9月には、会員や家族、従業員を対象とした第3回日帰り親睦旅行を実施したところ200名を超える申込みがあり、大型バス5台に分乗して横浜中華街周辺散策の旅に行ってきました。また、1月に実施した全会員対象の新年互礼会は120名の会員が参加し、盛大に挙行されました。

3月に実施した優良従業員表彰式は今回で第49回を迎えました。9事業所54名の永年勤続従業員の方が表彰を受けました。発足2年目を迎える「たまむら安心リフォーム組合」の育成や、「玉村町建設業一人親方労災会」の設立にも積極的に取り組んできました。商工会の事業活動について町民の方に広く知ってもらうことを目的として、区長様の協力を得て、広報紙の町内全戸配布を行いました。一方新規会員の獲得にも努力してきましたが、廃業による退会者が多く、差し引きすると昨年度とほぼ同程度の会員数という結果になりました。また、景気低迷を反映して、共済関係は減少を続け、手数料収入は減少していますが、事務の改善や経費節減に努めた結果、1年間の収支決算は昨年度とほぼ同水準を維持することができました。